

1-23 各部の基本納まり図

14) 笠木部

①基本納まり

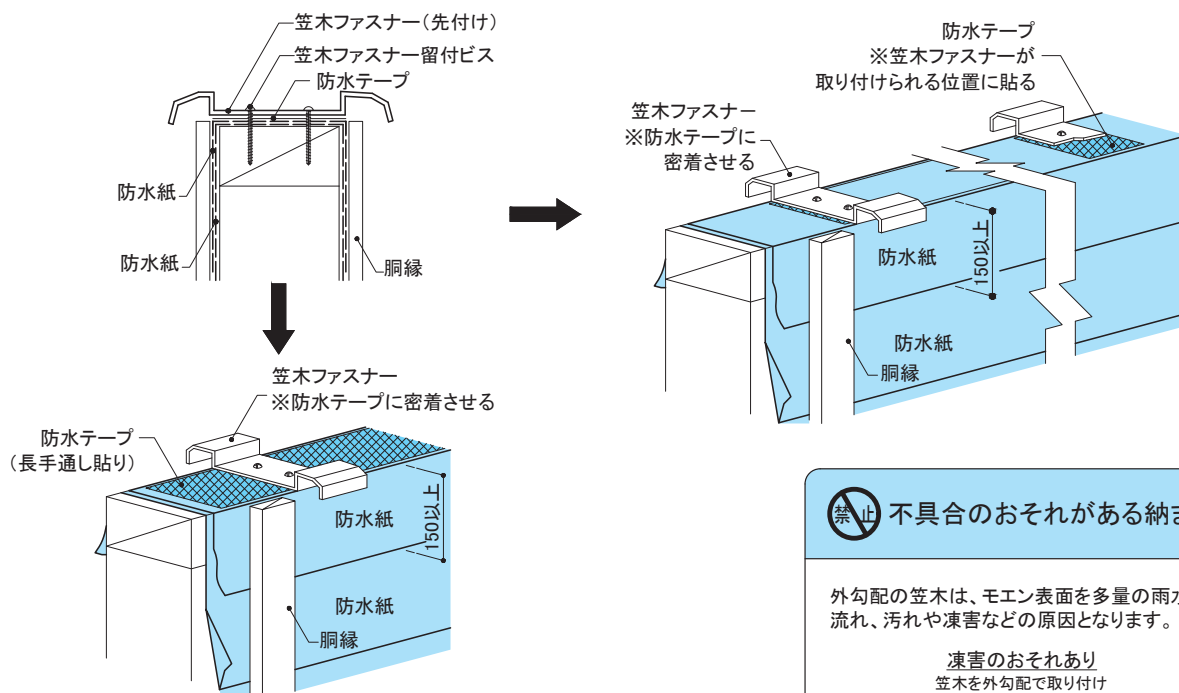
●防水紙が張り上がった後、笠木の天端は下図のように長手方向に防水テープを貼るか、事前に笠木を取り付ける工事業者様または現場管理者に確認を行い、笠木ファスナーの位置がわかる場合は、その位置に防水テープを貼ってください。

●笠木は外勾配にはしないでください。

●雨漏りの危険があるため、笠木本体や手すり部材は上部から直接留め付けしないでください。

※笠木のタイプにより外壁取り合い部が異なります。外壁工事と施工手順が変わる場合がありますので必ず事前に確認してから施工してください。

下図は笠木取付金具(先付笠木ファスナー)の取り付け後、笠木本体を後からはめ込むタイプの例です。

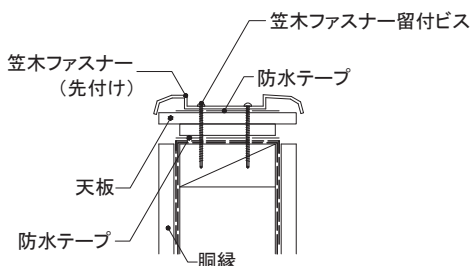
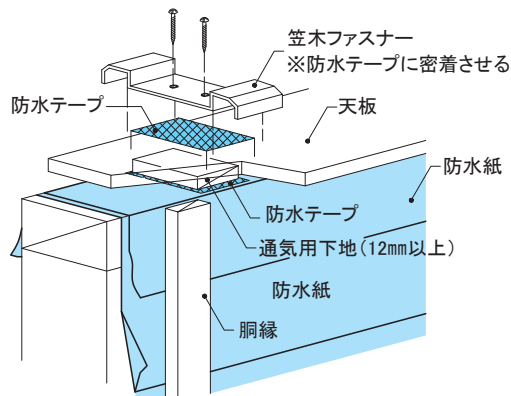


②天板を入れる場合

●天板を取り付ける場合は通気用下地を留め付け、その上に天板を取り付けます。その場合は通気用下地の裏に防水テープを貼ってください。

●笠木ファスナーは、通気用下地がある部分の天板に再度防水テープを貼ってから笠木ファスナーを留め付けてください(※)。

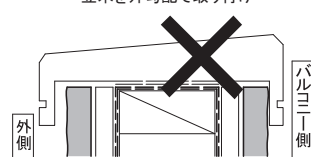
※笠木取り付け工事業者様の施工



禁止 不具合のおそれがある納まり

外勾配の笠木は、モエン表面を多量の雨水が流れ、汚れや凍害などの原因となります。

凍害のおそれあり
笠木を外勾配で取り付け



雨漏りのおそれあり
笠木を本体天端から留め付け

